

第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会 募集要項

グリーン・ツーリズムの成果を活かし 農山漁村の持続的発展へ ～農泊で何が変わる、何ができる～

開催日 **令和3年9月4日(土)～5日(日)**
みやぎ体感オプションツアー 令和3年9月5日(日)～6日(月)

メイン会場 **岩出山文化会館(スコーレハウス)**
/宮城県大崎市

開催方法 **会場参加・オンライン参加併用開催**

大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KOUDO

GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

主催/第1回全国農泊ネットワーク
宮城大崎大会実行委員会

<https://www.city.osaki.miyagi.jp/shisei/soshikikarasagasu/sangyokeizaibu/sekainogyoisansuishinka/8389.html>



あいさつ



農山漁村振興の フロンティアとしての農泊

大会委員長
郷古 雅春 (宮城大学教授)

「農」には「森や林を切り開き田や畑にして耕す」意味があります。まさに「フロンティア・開拓」です。「農泊」は、農山漁村地域に宿泊し、豊かな地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」と定義されますが、私なりの解釈では、それに加えて農山漁村振興のフロンティアの意味も含有しています。大崎耕土における本大会の開催は、長きにわたるグリーン・ツーリズムの取り組みの延長線上にあり、新たなステージへのフロンティアでもあります。様々な困難な状況の中、ご参加いただく皆様を心より歓迎いたします。



グリーン・ツーリズムから 農泊への持続的発展を!

大会アドバイザー
青木 辰司 (東洋大学名誉教授、
(一社)日本ファームステイ協会品質評価支援研究所 所長)

第2回グリーン・ツーリズム全国大会が、旧鳴子町で開催されて17年。国の政策も農泊に転換し、グリーン・ツーリズム実践を活かした新たな地域活性化を目指して、全国で554地区が認定されて、実践展開が始まりました。今回、世界農業遺産に認定された大崎地域に、多くの実践者が結集し、確かな個人的実践の展開に向けて、相互の交流と情報の共有、そして農泊事業の確かな認識を深めたいと思います。種々困難な状況を乗り越えて、有意義な成果が得られ、農泊事業の多面的な展開に発展することを祈念し、本大会が、そのための契機となることを心から期待いたします。

第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会開催要項

Welcome!

1. 大会趣旨

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動であるグリーン・ツーリズムは、全国各地で多様な活動の展開が図られてきました。現在、さらに農山漁村の魅力を活かし、価値共有を通じて、持続的な農村ビジネスとして成立させる仕組みとして「農泊」の推進が全国各地で展開されています。農泊を地域に根付いた持続的な農村ビジネスとして育てていく上で、2つの視点が重要であると考えます。

- ・長年にわたり、農山漁村の資源を活かした取り組みの素地をつくり、確かなものに育ててきたグリーン・ツーリズムの成果と課題を振り返り、農泊への発展と融合につなげること

- ・全国 554 (令和 2 年 12 月現在) の農泊推進地域・団体における農泊の取り組みを地域に根付いたものにしていくための地域間における情報共有と連携に向けたネットワーク構築を進めること

これらの視点を踏まえ、地域の資源を活かし、訪れる人、そして地域が豊かになる持続的な農村ビジネスとしての「農泊」の推進に向けた動きが必要です。

この農泊推進に向けた動きを踏まえて、その歩みをさらに確かなものとしていくため、全国の農泊推進地域・団体の実践者や自治体や団体、企業などが一堂に会し「グリーン・ツーリズムの成果を活かし、農山漁村の持続的発展へ」をテーマに意見・情報交換と相互交流のネットワーク構築を目的として、「第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」を開催します。

2. 大会テーマ

グリーン・ツーリズムの成果を活かし、山漁村の持続的発展へ

3. 主催

第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会実行委員会

4. 共催

宮城県、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町、
一般社団法人日本ファームステイ協会

5. 後援(令和3年6月15日現在)

朝日新聞仙台総局、株式会社大崎タイムズ社、 河北新報社、
読売新聞東北総局、大崎ケーブルテレビ、 山形放送、
NHK 仙台放送局、**TBC** 東北放送、**KHB** 東日本放送、
三ツギテレビ、株式会社日本農業新聞、観光庁、公益財団法人
宮城県市町村振興協会、宮城県市長会、宮城県町村会、大崎地域
広域行政事務組合、大崎地域世界農業遺産推進協議会

6. 日時

令和3年9月4日(土)～5日(日)
(みやぎ体感オプションツアー 令和3年9月5日(日)～6日(月))

7. 大会会場

メイン会場：岩出山文化会館(スコレハウス)
分科会：やくらい林泉館、涌谷公民館、大崎市図書館、中新田交流
センター、公園の中の宿ロマン館

8. 開催方法・定員

会場参加・オンライン参加併用開催
1日目メイン会場：300人、2日目各分科会会場50人

9. 参加対象者

農泊、グリーン・ツーリズム実践者、農山漁村の資源活用に興味・関心のある方など

10. 大会参加費

- (1) 大会参加費：3,000円/人(1日のみ参加の場合は2,000円/人)
- (2) 交流会費：4,000円/人
- (3) オンライン参加：個人2,000円、団体10,000円(資料5冊付き)
- (4) 昼食代(弁当代)：1,000円/人(2日目)
- (5) オプションツアー：各コース実費負担

11. 申込等

別途、大会のWEBサイト等に掲載する「参加申込書」を参照し、申込をお願いします。申込は先着順で受付します(一次募集締め切り**7月30日(金)**)。定員に満たない場合は、8月以降に二次募集を行います。

12. 新型コロナウイルス感染症対策

国等の新型コロナウイルス感染症対策の基本的な対処方針、業界団体等が定める感染防止ガイドライン等を準拠し、運用します。

第1分科会

遊ぶ これからのツーリズム

グリーン・ツーリズム—その実践成果の継承と発展

全国で展開されたグリーン・ツーリズムがもたらした成果を振り返りながら、今後の発展可能性を探っていきます。

■会場 やくらい林泉館（加美町小野田）

■コーディネーター

帝京大学経済学部地域経済学科・
大学院経済学研究科地域経済政策学専攻准教授
五艘みどり氏

■報告者

（一社）隠れ里ひとくまツーリズム 代表理事 樺木徹郎氏（熊本県あさぎり町）
（一社）仙北市農山村体験推進協議会 副会長 門脇富士美氏（秋田県仙北市）
栗原市農泊推進協議会 事務局長 大場寿樹氏（宮城県栗原市）
リロカリコクリ（株）代表取締役社長 米津岳氏（宮城県加美町）

交流会

やくらい
林泉館



加美町小野田
Kami Onoda

第2分科会

繋ぐ 支え合う仲間づくり

農泊推進における組織体制確立とネットワーク化

農泊の普及と定着に向けて重要となる中間支援機能。この機能を担う外部人材の活用も含めた人づくりと組織づくりの現状と課題を考えながら、ネットワークの意義と可能性を探っていきます。

■会場 涌谷公民館（涌谷町）

■コーディネーター

帝京大学経済学部観光経営学科・大学院経済学研究科経営学専攻教授
金 振晩氏

■報告者

（株）八幡平DMO CEO 畑めい子氏（岩手県八幡平市）
日本航空（株）地域事業本部 本部長 本田俊介氏（東京都）
蔵王農泊振興協議会 会長 相澤国弘氏（宮城県蔵王町）
（一社）みやぎ大崎観光公社 事務局長 星 義一氏（宮城県大崎市）

交流会
（美里町）

でんえん土田畑村
菜園レストラン
野の風

涌谷町
Wakuya



第3分科会

学ぶ SDGsを農山漁村に学ぶ

世界農業遺産の保全活用とツーリズム

農業農村の営みの価値が世界的に認められた世界農業遺産認定地域を中心に、世界農業遺産の保全活用の現状や SDGs と連動した多様なツーリズムの可能性を探っていきます。

■会場 大崎市図書館（大崎市古川）

■コーディネーター

同志社大学政策学部・総合政策科学研究科教授 大和田順子氏

■報告者

（一社）佐渡観光交流機構 専務理事 祝 雅之氏（新潟県佐渡市）
国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会 会長 林 浩昭氏
（大分県国東半島宇佐地域）

NPO法人ORGAN 理事長 蒲 勇介氏（岐阜県長良川上中流域）

大崎地域世界農業遺産推進協議会 事務局長 高橋直樹氏（宮城県大崎地域）

大崎市古川
Osaki Furukawa

交流会
（大崎市古川）

アインパルラ
浦島



第4分科会

食べる おらほの食文化

日本型農泊推進における食文化活用

豊かな日本の食文化を活かした多角的な活用の意義と可能性を探っていきます。

■会場 中新田交流センター（加美町中新田）

■コーディネーター

（一社）ムラたび九州 本田 節 氏

■報告者

農事組合法人やくらい土産センターさんちゃん会

代表理事組合長 加藤重子氏（宮城県加美町）

（株）はなやか 代表取締役 伊藤恵子 氏（宮城県美里町）

八女市母の膳推進協議会 中島加代 氏（福岡県八女市）

（株）ロハス越前 代表 田中滋子 氏（福井県越前市）

交流会

中新田交流
センター

第5分科会

見る 美しい農村(むら)づくり

美しい農村景観と地域資源の活用

空き家や耕作放棄地などの私有財産の利用や全国的な課題となっている廃校利用について、イタリアやドイツの事例を参考に農泊利用や移住定住など、利活用の可能性を探っていきます。

また、宿泊施設や体験、食の提供の質の向上と品質確保のための評価支援の方法を探っていきます。

■会場 岩出山文化会館（スコーレハウス）（大崎市岩出山）

■コーディネーター

東洋大学名誉教授、（一社）日本ファームステイ協会品質評価支援研究所 所長 青木辰司 氏

■報告者

（株）ここから 代表取締役 川崎恭平 氏（山形県金山町）

（一社）かかしの一本足かえるのあぐら 代表理事 嶋崎康二 氏（宮城県柴田町）
在イタリア日本大使館 内海莉奈 氏（オンライン）

（株）サクラクオリティマネジメント 代表取締役 北村剛史 氏（東京都）

交流会
(大崎市鳴子温泉)川渡地区
公民館大崎市岩出山
Osaki Iwadeyama加美町中新田
Kami Nakaniida大崎市田尻
Osaki Tajiri

第6分科会

泊まる よみがえる農村

農泊の普及とその可能性

さらに深刻化する農山漁村の高齢化と担い手不足は、農業の継続はもとより、農山漁村の元気が失われることにつながっています。農山漁村の今を見つめながら、全国で取り組みが進む農泊の持つ可能性について探っていきます。

■会場 公園の中の宿ロマン館（大崎市田尻）

■コーディネーター

（株）大田原ツーリズム 齋藤充利 氏

■報告者

（株）シャンテ 代表取締役 CEO 安達精治 氏（岡山県矢掛町）

NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク 会長 菊池新一 氏（岩手県遠野市）

農家民宿おりざの森 代表者 渋谷わかな 氏（宮城県加美町）

田尻グリーン・ツーリズム委員会 会長 佐々木重信 氏（宮城県大崎市）

交流会

公園の中の宿
ロマン館



2021年9月5日(日)出発 2日間

みやぎ体感オブ

大崎コース おおさきの林泊と世界農業遺産ツアー

1名 OK

エネルギーの地産地消を目指す「サステナビリティ鳴子」の視察とガイド付きのもり歩きに加え、世界に認められた水管理システムの南原穴堰と屋敷林の「居久根」を見学。川渡温泉に宿泊して、世界農業遺産「大崎耕土」を体感するツアー。

コース・日程

【1日目】 古川駅(16:30)＝川渡温泉(泊)

【2日目】 各旅館＝サステナビリティ鳴子(視察)＝エコラの森(もり歩き)・・・エコラの家(昼食)＝南原穴堰(見学)＝あ・ら・伊達道の駅(お買い物)＝西大崎地区 居久根(見学)＝古川駅(16:30)

旅行代金 26,000円

利用バス社 第一観光バス

食事 朝1 昼1 タ1

添乗員 同行いたしません。現地ガイドがご案内します

宿泊 越後屋旅館/旅館ゆさ/
民宿旅館二宮荘/藤島旅館

募集定員 20名(最少催行人員10名)



加美コース おおさきの農泊と発酵食文化ツアー

1名 OK

林泉館のみ

「はた織伝習館」での講話と古民家を再生活用した「滝庭の関・駒庄」でそば打ちを体験。午後は地域の食糧基地の産直を視察のあと、屋敷林「居久根」を眺望できる色麻町の愛宕山へ立ち寄り。最後は「寒梅酒造」の酒蔵見学と地酒を試飲。宿泊は加美町の農家民泊等。

コース・日程

【1日目】 古川駅(16:30)＝加美郡加美町(泊)

【2日目】 各宿泊先＝1班:加美町小野田 滝庭の関・駒庄(そば打ち体験)・・・はた織伝習館(講話)・・・駒庄(昼食)/2班:はた織伝習館(講話)・・・滝庭の関・駒庄(そば打ち体験・昼食)＝やくらい土産センター(視察・お買い物)＝色麻町 愛宕山公園(居久根ビュー)＝大崎市古川 寒梅酒造(酒蔵見学・お買い物)＝古川駅(16:30)

旅行代金 20,000円～22,500円

利用バス社 第一観光バス

食事 朝1 昼1 タ1

添乗員 2日目のみ同行

宿泊 やくらい林泉館/花袋・天王/
おりざの森/コンツェルト・ハウス

募集定員 20名(最少催行人員10名)

涌谷・美里コース おおさきの食文化とGOLD浪漫(日本遺産)ツアー

1名 OK

東北コットンプロジェクト生産団体の「イーストファームみやぎ」で農園を視察。菜園レストランの昼食と産直に立ち寄り、涌谷町ではストーリーガイドが同行して～花咲け「みちのくGOLD」ロマン～の「籠峯寺」と、「天平ろまん館」を訪ねます。

コース・日程

【1日目】 古川駅(16:30)＝遠田郡美里町(泊)

【2日目】 ホテル＝美里町 イーストファームみやぎ(農園視察・体験)＝菜園レストラン 野の風(昼食)＝花野果市場(お買い物)＝涌谷町 籠峯寺(拝観)＝天平ろまん館(見学・砂金採り体験)＝古川駅(16:30)

旅行代金 22,000円

利用バス社 第一観光バス

食事 朝1 昼1 タ1

添乗員 2日目のみ同行

宿泊 ビジネスホテルせんだい屋

募集定員 20名(最少催行人員12名)





(株)とよま振興公社提供

※画像は全てイメージです

登米コース

農・食のつながりと登米の歴史を学ぶツアー

1名OK
ルートインのみ

NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」のロケ地となった登米市。明治時代の建物が多数存在する「みやぎの明治村」と「森舞台」を見学。午後は「農業を食業に変える」を原点に事業展開している「伊豆沼農産」を訪ねて生ハム工房、直売所を視察。宿泊は農家民泊等。

コース・日程

【1日目】 古川駅(16:30)=登米市内(泊)

【2日目】 各宿泊先=みやぎの明治村(ガイド付きで見学・自由昼食)=伝統芸能伝承館(森舞台見学)=伊豆沼農産(視察・お買い物)=古川駅(16:00)

旅行代金 18,000円~20,000円

利用バス会社 第一観光バス

食事 朝1 夕1

添乗員 同行いたしません。現地係員がご案内します

宿泊 ルートイン登米/農家民泊かやさく/農家民泊たまやま/農家民泊グリーンハーベスト/民泊すとう/農家民泊ふどうまえ/農家民泊かじか村

募集定員 20名(最少催行人員12名)

南三陸コース

震災からの学びと福幸玉づくり体験ツアー

1名OK

語り部による震災講話と被災市街地をバスで巡ります。さんさん商店街で自由昼食と買い物のあとは、漁網を浮かせる「浮き球」をイメージした福幸玉づくり体験。宿泊は南三陸杉の香りに抱かれた宿泊研修施設です。

コース・日程

【1日目】 古川駅(16:30)=本吉郡南三陸町(泊)

【2日目】 宿泊先=さんさん商店街会議室(震災講話)=被災市街地案内(戸倉地区~復興祈念公園)=さんさん商店街(自由昼食・お買い物)=生涯学習センター(福幸玉づくり体験)=古川駅(16:30)

旅行代金 26,500円

利用バス会社 第一観光バス

食事 朝1 夕1

添乗員 同行

宿泊 南三陸まなびの里いりやど アネックス(洋室)

募集定員 20名(最少催行人員12名)

仙南コース

酪農地帯の体験といちご農園ツアー

蔵王町の緑の牧草が広がる「蔵王ハートランド」でチーズ作り体験。地産地消推進店のJA運営レストラン「仙南シンケンファクトリー」で自由昼食。津波で被災した農家3軒で設立した「山元いちご農園」を見学して仙台駅解散のコース。宿泊は蔵王町の貸別荘。

コース・日程

【1日目】 古川駅(16:30)=刈田郡蔵王町(泊)

【2日目】 各宿泊先=蔵王ハートランド(チーズ作り体験・お買い物)=仙南シンケンファクトリー(自由昼食・お買い物)=山元いちご農園(大型温室+ハウス見学・お買い物)=仙台駅(15:20)

旅行代金 28,000円

利用バス会社 第一観光バス

食事 朝1 夕1

添乗員 同行

宿泊 蔵王山水苑

募集定員 20名(最少催行人員12名)

①参加申込書の記載

みやぎ大崎観光公社又は大崎市のWEBサイトから、参加申込書のダウンロードをしてください。ダウンロードした参加申込書に、必要事項を記載してください。

なお、参加申込書の郵送を希望する方は、お問い合わせください。

《みやぎ大崎観光公社》

<https://www.mo-kankoukousya.or.jp>

《大崎市》

<https://www.city.osaki.miyagi.jp/shisei/soshikikarasagasu/sangyokeizaibu/sekainogyoisansuishinka/8389.html>

参加申込書は
こちらから



②申込

①で記載した参加申込書について、みやぎ大崎観光公社のメールアドレスに送信、又はFAXし、お申し込みください。

なお、各分科会、オプションツアー等は、定員がございますので、申込多数の場合は先着順で決めさせていただきます。なお、第2希望、第3希望への変更をお願いする場合があります。

《みやぎ大崎観光公社メール》

travel@mo-kankoukousya.or.jp

《みやぎ大崎観光公社FAX》

0229-25-8635

③申込内容の確認及び請求書の送付

申込多数の場合など、必要に応じ、分科会やオプションツアーの希望内容を再度メール等で確認させていただき、申込内容を確認いたします。その後、郵送にて契約書面・請求書等をお送りいたします。

④参加費・旅行代金等の支払い

お送りした請求書に基づき、指定の振込先に、参加費(オンライン参加)、交流会費、オプションツアーなど(9月4日(土)の宿泊費以外)の代金を振り込んでいただきます。なお、9月4日(土)の宿泊については、当日参加者が直接宿泊先にお支払いください。

⑤参加案内の送付

参加費・旅行代金等の振込確認後、代表者に参加案内を送付いたします。参加案内は、当日の参加者確認の際に必要となりますので、大切に保管してください。オンラインでの参加者には参加者ID等をメールでお送りいたします。

⑥大会当日

当日は、会場にて参加者本人の確認を行いますので、参加案内を必ずお持ちください。オンライン参加の方々は、開始時間前にオンライン接続をお願いします。

申込・問い合わせ

宮城県知事登録旅行業2-346号 ANTA正会員

一般社団法人 みやぎ大崎観光公社

宮城県大崎市古川七日町3-10 醸室内

TEL:0229-25-9650 FAX:0229-25-8635

✉ Mail travel@mo-kankoukousya.or.jp

🖨 HP <https://www.mo-kankoukousya.or.jp>

※平日9:00~17:00 土日祝休 ※営業時間外の申込は翌営業日の回答になります。

国内旅行業務取扱管理者 保原昭彦

大会内容等問い合わせ

第1回全国農泊ネットワーク宮城大崎大会実行委員会

(宮城県大崎市役所産業経済部世界農業遺産推進課内)

宮城県大崎市古川七日町 1-1

TEL:0229-23-2281 FAX:0229-23-7578

✉ Mail nouhaku-osaki@city.osaki.miyagi.jp

🖨 HP <https://www.city.osaki.miyagi.jp/shisei/soshikikarasagasu/sangyokeizaibu/sekainogyoisansuishinka/8389.html>

※平日8:30~17:15 土日祝休 ※業務時間外の問い合わせは翌業務日の回答になります。